



校長室だより No.9

「芸術の秋」～心揺さぶられた作品の数々～

スキー、水泳、持久走…等、多くの運動に親しみ活躍している白峰っ子たちは、読書感想文や読書感想画、硬筆書写コンクール等々、芸術分野にも熱心に取り組み、多くの場で評価されています。

受賞した子どもたちを紹介します。

★石川県硬筆書写コンクール	特選	5年	日比野 碧	さん
★白山市読書感想文コンクール	最優秀賞	2年	日比野 綸	さん (県出品)
	優良賞	4年	竹内 爽汰	さん
★白山市読書感想画コンクール	最優秀賞	1年	下 雄伍	さん (県出品)
	優秀賞	1年	永吉 由奈	さん
	優秀賞	3年	下 りっ花	さん
★MOA 美術館白山市児童作品展	実行委員会賞	3年	下 りっ花	さん



受賞の有無に関わらず、全員が何事にも真剣に取り組んでいる姿、最後まで根気よく丁寧に仕上げている姿が何より素晴らしく、嬉しいことです。この後も俳句や五行歌等、いろいろなことにチャレンジします。これからもみんなで頑張っていきます！！

白峰小学校は「歯も優秀！！」

石川県学校保健会・石川県歯科医師会が行っている、良い歯の学校運動小学校小規模校の部で、白峰小学校は今年度10回目となる優良校受賞を果たしました。受賞の基準は、むし歯の治療率、発生率、歯科保健活動の総合的な審査です。学校では、子どもたちが大人になっても自分の歯、口の健康意識を維持できるように、歯に対する啓発や保健指導を行っています。その一環として11月4日(火)から1週間「歯キラリン週間」の取組として「歯みがき検査」を行い、家庭での歯磨き習慣の定着を図りました。ご家庭でも、日々歯の健康を守るような声かけや歯医者での治療等、今後ご協力をお願いいたします。

「8020(ハチマルニイマル)運動」を知っていますか？

「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われています。そのため、「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めてこの運動が始まりました。

11月29日開催の石川県PTA大会に参加し、白血病を克服しオリンピックにも出場した競泳の池江璃花子選手の母である池江美由紀さんの講演を聞きました。池江さんは長年幼児教室の経営者兼講師をされており、子どもの才能を引き出し「本番力」「人間力」「あきらめない強い心(潜在能力)」を育むことを大切に指導をされているそうです。これまでの子育てや講師としての経験をもとに、「子どもの才能の伸ばし方」を中心に様々なお話を聞くことができました。以下印象に残った内容です。参考まで…。

*育てたように子は育つ、「子どもを変えるのではなく、自分(親)が変わる」⇒「人間力」を育てる

例)何でも子どもに聞かない(確認しない)、親が自分自身に厳しく、家庭の中の「敬」を大切に
子どもの言いなりにならない やったことを叱る(叱り方のルール)、お手伝い(一人一役)を

*心と体はつながっている⇒「自分ができる」と潜在能力(右脳)に働きかける。言葉に出す。

リアルなイメージトレーニングで右脳に働きかけ、本番力をつける。⇒「火事場の馬鹿力」を発揮

*子育ては「いい加減(いい塩梅)に」

